

NACCSプログラム変更要望一覧（2022年度分）（2023年度継続検討案件）

※グレーにハイライトは重複案件

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-011	貨物	ACL01	BLコピー部数欄追加	なし	コピー部数欄追加	お客様の要望	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-012	貨物	ACL01	Ultimate Final Destination記載不可	Ultimate Final Destination使用可	使用不可希望	Final Destinationを最終仕向け地としているので、それ以降の向け地に関しては必要をしないため	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-013	貨物	ACL01	送信者の名前・電話番号・Email Addressを必須項目とする	電話番号欄のみ	Email Address欄追加	問い合わせスタイルの変化に伴い、Email Address欄を設けて欲しい	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-014	貨物	ACL01	コード欄追加	なし	SCACコード欄追加	以前より北米向け、AMS FilerのNVOCはSCACコードにてAMS送信が必須であるのにそれを記載する項目がないため	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-018	貨物	BIA	OLT（1件のOLT最大5件）で保税運送された貨物につき、その後、弊課（保税倉庫）において、BIAで搬入登録を行うが、システムデータが全く活用出来ていない為、全て手入力となっている。OLT情報があるので活用して頂きたい。具体的には、【OLT番号を入力→展開処理・等の機能を追加頂き、追加機能により、OLT番号に紐づく各情報をBIA画面へ展開頂きたい。具体的には①貨物管理番号(B/L番号)、②到着個数、③荷姿、④記号番号、⑤記事を展開】して欲しい。その情報に対して、【実際の貨物入庫時の情報に基づき、変更等・修正を行った上で、搬入登録を行う運用】が望ましいと考えます。	OLT（1件のOLT最大5件）で保税運送された貨物につき、その後、弊課（保税倉庫）において、BIAで搬入登録を行うが、システムデータが全く活用出来ていない為、全て手入力となっている。OLT情報があるので活用して頂きたい。	具体的には、【OLT番号を入力→展開処理・等の機能を追加頂き、追加機能により、OLT番号に紐づく各情報をBIA画面へ展開頂きたい。具体的には①貨物管理番号(B/L番号)、②到着個数、③荷姿、④記号番号、⑤記事を展開】して欲しい。その情報に対して、【実際の貨物入庫時の情報に基づき、変更等・修正を行った上で、搬入登録を行う運用】が望ましいと考えます。	OLTで保税運送され、倉庫でBIAで搬入登録を行うHouse-B/L（貨物情報）件数が多い場合、現状の運用では、全て手入力での登録である為、非常に時間を要す等、非効率となっており、上流情報がまるで活用出来ていない。同機能を追加する事で、上流情報（OLTの情報）に対しての、実際の搬入貨物のタリー結果への確認・修正にBIA処理時には注力できる為、入力齟齬の軽減と、保税非違の削減に寄与するものと考え致します。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-019	貨物	BIC	BICの取り消しが出来るようにしてほしい	保税倉庫でBIFをするか、BOBをして新たにECRを取得する	CYCのようにBICでも搬入取り消しが出来るようにしてほしい	ECR取得者が貨物情報訂正可能となる	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-020	貨物	BIL BIL BIC	搬入確認登録を取り消すための業務コードの設定	当該取消用のコードは無いことから搬出用の他コードによって一旦内貨引取を実施し、その後改めて輸出するためには、新たな貨物管理番号（AWB番号）を別途取得しなければ搬入確認登録を実施することができないなど業務手順が煩雑と思われる。	本船スケジュールの乱れなどを理由として保税搬入後に申告保留または輸出の延期を要する状況は想定される。現行システムではスケジュール等が確定するまでは保税蔵置状態を維持する運用となるが、その間の誤認による申告や貨物流出を懸念する。かかる曖昧な状況にあって内貨状態（未申告貨物）であるならば搬入登録を直ちに取消して内貨蔵置エリアに貨物を移動し、その後の確定にあっては同一の貨物管理番号（AWB番号）によって再度搬入確認登録できる仕様としていただきたい。	保税事故の抑制 業務手順の単純化 保税管理上の誤認防止	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-021	貨物	BIL	BILを入力を複数できるようにしてもらいたい	1BL分の入力	現在BILの入力は1BL分だけであるが、複数（5～10BLぐらい）できるようにしてもらいたい	業務の効率化	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-022	貨物	BOC	輸出業務において、許可書のマニュアル訂正後のNACCS処理可能範囲の設定変更	許可後及び出港後の個数訂正する場合、出港日が過ぎても仕分処理（SHS）は可能だが、許可書はマニュアル訂正となる。	出港日が過ぎて、許可書をマニュアル訂正した場合、搬出処理（BOC）までは、NACCSにて処理できるようにして頂きたい。	税関での貨物情報データの削除処理をお願いする事になる為。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-024	貨物	CAI	本申告起動後、口座使用不可状態または担保不足などで輸入許可保留となった貨物が個数割れとなった場合でもCAIで個数訂正（積み上げ）を可能とする。	税関へのファイル変更届を提出し個数訂正を実施いただいている。	本申告起動後、口座使用不可状態または担保不足などで輸入許可保留となった貨物が個数割れとなった場合でもCAIで個数訂正（積み上げ）を可能とする。	ファイル変更処理の軽減。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-025	貨物	CAI01	訂正保留時のIAW上の表示が2種類存在するが統一していただきたい。	①IAWの“突合済”の欄が、“2”となるパターン ②IAWの“CAI保留”の欄が“*”となるパターン	②に統一していただきたい。	①では訂正保留を見逃す恐れがあるため。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-026	貨物	CAI01	HCH登録がされている場合でも、HAWB情報に紐づくMAWBデータの訂正を可能としたい。	HCH登録がされている場合、HAWB情報に紐づくMAWBデータの訂正ができない。MAWBデータを訂正する際は、HCH入力者へ連絡し、HCH情報を削除していただく手続きを取っている。	HCH登録がされている場合は、HAWB情報に紐づくMAWBデータの訂正ができない為、HCH入力者へHCH情報の削除を依頼の上対応しているが、非常に手間であることや、お客様へHCHの削除と再登録をお願いすることから、利便性向上のためにも制限を緩和していただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 作業工数の削減 HCH情報登録の有無に左右されないため、お客様によるHCH情報の削除と再登録が不要 	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-027	貨物	CAI01	一度AA蔵置場より搬出確認登録（EXA）を実施し、BB蔵置場にて搬入確認登録（BIN）を実施した後、再度BB蔵置場より搬出確認登録（EXA）を実施し、BB蔵置場にて搬入確認登録（BIN）を実施し、輸入貨物情報変更登録（CAI01）にて輸入DBの訂正を試みるも、“当該貨物は搬出済み”とのエラーが発生し訂正できない為、再度搬入した際に輸入DBを訂正できる仕様としていただきたい。	一度AA蔵置場より搬出確認登録（EXA）を実施し、BB蔵置場にて搬入確認登録（BIN）を実施した後、再度BB蔵置場より搬出確認登録（EXA）を実施し、BB蔵置場にて搬入確認登録（BIN）を実施し、輸入貨物情報変更登録（CAI01）にて輸入DBの訂正を試みるも、“当該貨物は搬出済み”とのエラーが発生し訂正できない為、都度税関に報告し、対応方法につき指示を仰いでいる。（基本的にPREFIXを変更して再登録等の対応を行っている）	搬出済みの貨物でNACCS登録情報に変更が発生した場合には、輸出DBと輸入DBの整合性を取る必要があることから、搬出済みの貨物を引き戻した際に訂正が可能な仕様としていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 都度税関とNACCS登録情報についての調整が不要 PREFIXを変更しての再登録の必要がなく、既存のDBを訂正して次工程の作業に繋げることが可能。 NACCS管理資料に不要なデータがの記帳されない。 	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-029	貨物	CAI01	CAIにて訂正可能な項目を増やしていただきたい。到着時刻。	そもそもCAI01にて展開する画面に到着時刻の項目が反映されていない。よって到着時刻を訂正する術がない。	CAI01にて到着時刻の変更が可能となるようにしていただきたい。	現行では訂正できる術がない。税関でも対応不可。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-030	貨物	CAI01	到着年月日と搬入年月日の訂正につき、航空会社利用者コードの上屋「XXX」に蔵置している貨物に対しては訂正できない為、訂正が可能となるようにしていただきたい。	到着年月日と搬入年月日の訂正につき、保税蔵置場利用者コードの上屋「〇〇」に蔵置している貨物については訂正可能であるが、航空会社利用者コードの上屋「XXX」に蔵置している貨物に対しては訂正できない為、XXXに蔵置している貨物に対しても訂正が可能になるようにしていただきたい。現行XXXに蔵置中の貨物に対して到着年月日及び搬入年月日の訂正が発生した場合、CAI01にて蔵置場を一旦まる〇〇に変更⇒CAI01にて到着年月日及び搬入年月日の訂正⇒CAI01にて蔵置場を一旦XXXに変更している。	同左	<ul style="list-style-type: none"> 工数削減 不要なCAI業務の削減 	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-033	貨物	CDB	ECRの出力先設定	AIR NACCSではCDB業務で出力される伝票は作成者が設定するプリンターのみで出力されると理解していますが、SEA-NACCSの場合は、ECRで出力される伝票は作成者プリンターと保税蔵置場に出力されています。AIR-NACCSでも同様に複数個所への出力ができないか。	ECRで出力される伝票を作成者プリンターと保税蔵置場の複数個所に出力ができるようにしてほしい	プリンターからの取り出し後のFAX等二度手間が無くなり、業務の効率化が図れる	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-034	貨物	CDB	利用者コード下3桁一致で通関業者の制限解除	通関利用者コードをUNKであれば通関業者の制限はありませんが、搬入番号（AWB番号）が分かれば、誰でも申告できてしまうため、事故につながる可能性はある。	利用者コードの後半部分は各通関業者の3桁で統一されています。利用者コード下3桁一致で申告可能となれば、蔵置場にAIB依頼せずともどこからでも申告可能となります。	制限が無くなるためBCPの観点で便利になる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-035	貨物	CHG	海上貨物から航空貨物への貨物情報切り替えの利便性を向上させてほしい。	CHG業務後、保税蔵置場へ搬入されるまで混載仕立て登録が行えない。CHG業務後に搬入可能な蔵置場は空港内蔵置場または航空会社のみになっている。（空港外蔵置場では海上貨物から航空貨物への切り替え仕立て業務が出来ない）航空会社への搬入はEXM業務によるマスター搬出を行うが、CHG業務で登録AWBはHAWBでしか行えない。CHG業務後は訂正・取り消し業務が行えないため、誤入力をした場合税関への相談（マニュアル対応）になると思われる。	日本を経由した第3国向けSEA&AIRサービスの提供を行いたい。日本到着後、貨物は仮陸揚げ状態で港から空港へ横持ちするサービス。	中国並びに東南アジア発北米（欧州）向け海上コンテナのスペースひっ迫解消が図れる。日本国内へ第3国から貨物を集め、港湾施設並びに空港（空港隣接施設）を有効に活用する。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-036	貨物	CHT HCC CHN CHS CFS		①現行の仕様では、CHTのキャンセルを行うと、過去全てのRe-iceの記録が削除されてしまう ②現行の仕様では、主に”Z” DMG内点にてHCCを行うと取扱料が減算されてしまう ③現行の仕様では、CHNにて内点登録する際に、取扱料控えを出力させるのに「入力情報特定番号」の欄に「A」を入力しないと取扱料控えが出力しない。 ④現行の仕様では、CHSにて改装仕分けの登録を行う際に、取扱料控えを出力させるのに「入力情報特定番号」欄に「A」を入力しないと取り扱え控えが出力しない。 ⑤現行の仕様では、CFSにて改装仕分け登録を行う際に、いわゆる「RESULT」を出力させるのに「取扱変更」欄に「Y」を入力しないと「RESULT」が対象代理店の端末から出力しない。	①削除回数を指定出来る様仕様変更を望む。 ②代理店等の都合で内点中に全量内点したいという場合があり、その際、NACCS上は減算を取り消すことが出来ないため減算実施後の減算の取消しが出来る仕様変更を望む。 ③CHNを登録すると自動で取扱料控えが出力するように仕様変更を望む。 ④CHSを登録すると自動で取扱料控えが出力するよう仕様変更を望む。 ⑤CFSを登録すると自動で対象代理店の端末から「RESULT」が出力するよう仕様変更。 ・NACCS利用停止時間の縮小。(1時間から30分への短縮。2日に1回など頻度を減らす。) ・三国間貨物の到着貨物データの表示期間の延長。(現行7営業日でデータが消えてしまう。)	作業効率化、労力と時間の削減効果。	②システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難 ⑤他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-037	貨物	CMR11	CMR12?のような業務コードを作って欲しい	CMR11にてDMF前までのみ呼び出し、処理可能。	DMF後も出港前報告の追加申請が必要になるケースがある。手入力ではなく、CMR11>>DMF後はCMR12を新設?から処理を進めたい。	手入力での誤入力防止、作業時短、効率UP.	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-038	貨物	CRS01	T53 LONG-DATE STORE REPORTに蔵入延長の期間を表示してほしい	T53-LONG-DATE STORE REPORTは蔵入承認日から21カ月を経過した情報が出力されるが、外国貨物蔵置期間延長承認申請がされたものも併せて表示されてしまうため、延長がされているものとの区別がつかない。	T53-LONG-DATE STORE REPORTについて①~③いずれかの外国貨物蔵置期間延長承認申請への対応を行いたい。 ①税関による延長日の入力 外国貨物蔵置期間延長承認申請を税関が受理後、機用品在庫に対して税関が”延長を必要とする期間(開始)”と”延長を必要とする期間(満了日)”を登録する。 ②外国貨物蔵置期間延長承認申請をNACCSでシステム化して延長日を登録 外国貨物蔵置期間延長承認申請をシステム化し新規業務を追加し、機用品在庫に対して”延長を必要とする期間(開始)”と”延長を必要とする期間(満了日)”を登録する。 ③機用品業者による延長日の入力 CRS01に”延長を必要とする期間(開始)”と”延長を必要とする期間(満了日)”の項目を追加して機用品業者にて入力する。 上記の”延長を必要とする期間(開始)”と”延長を必要とする期間(満了日)”の追加によりT53-LONG-DATE STORE REPORTの収集条件を延長しているものは「延長を必要とする期間(満了日)から」3カ月、延長していないものは「蔵入れ満了日から」3カ月の情報が出力されるよう変更、また、ICR(機用品在庫管理情報照会)で”延長を必要とする期間(開始)”と”延長を必要とする期間(満了日)”を確認できるようにする。	T53-LONG-DATE STORE REPORTの表示が蔵入れ承認日を参照した昇順の並びとなっている。 外国貨物蔵置期間延長承認申の満了日を基準とすることで、同じ月に蔵置期限を迎える情報が前後することなく、常に昇順でアップデートされるメリットがある。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-039	貨物	CY0	コンテナ情報の再利用	CY0を行う前に、輸出コンテナとしてCYAやVANが行われてコンテナ情報が再利用されると、輸入貨物情報とコンテナ情報が引き離され、輸入コンテナのCY0ができなくなるため、輸入貨物情報が滞留する可能性がある。滞留した場合は、税関に貨物情報削除の依頼を行っている。	このような事象が発生しないようにしてほしい。	税関への貨物情報削除を依頼する必要性がなくなる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-040	貨物	CYO	検査コンテナの搬出仕様について	1コンテナに複数BLが混載されて、一部輸入許可、一部検査になる場合がある。検査貨物のためCYOで搬出を行いたいが、この場合は、コンテナの中身が全部輸入許可にならないとCYO搬出できない。(検査搬出のためのCYOができない)	このような事象が発生しないようにしてほしい。		システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-047	貨物	ECR	ECRの船会社欄に混載貨物用船会社コードを入力可能にしてほしい	ブランク、9999	混載貨物時、船会社が分からないことが多い		他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-050	貨物	EPK EAW	EPK、EAWのキャンセルコードのようなものを設置していただきたい。(もしくはEPK、EAW後でも、ACH、PKG送信実施可能としていただきたい。)	EPK、EAW処理後、当該便に対して追加搬入するものがある場合は、CAW(AWB情報訂正)、CPK(貨物確認情報訂正)にて処理を行っているが、EPK、EAWのキャンセルコードのようなものがあれば、キャンセル後、再度ACH(AWB情報登録 輸入)、PKG(貨物情報確認登録)が可能となる。(その後、再度EPK、EAW処理を実施する。)	弊社システムの兼ね合いもあるが、再度EPK、EAWのキャンセル後、再度ACH、PKGが可能であれば、CAW、CPK処理時のnet NACCSへの直接送信ではなく、ACH、PKG送信時の弊社システムからのI/Fが可能となる。(と思われる。) I/F不可であっても、従前よりCAW、CPK送信の頻度が少なく誤登録の可能性があるため、ACH、PKGにての情報登録を行いたい為。	誤申告の可能性及び処理負荷軽減	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-051	貨物	GOL	仮陸揚貨物 取扱いにおいて、航空会社業務 GOL と同様の業務をFWDRでも使用可能としてほしい。 ** 空港間 及び 港—空港間の 仮陸 (保税運送含) を簡素化してほしい	仮陸貨物において、空港間、 港—空港間を 跨ぐ場合 処理が煩雑、及び マニュアル申請が必要な 場合が多い。	羽田空港着 — 成田空港発 (逆の場合も) の仮陸貨物においては、マニュアルでの仮陸届 申請が必要。 また 海上港着 — 航空空港発の場合、 多数の処理が必要になり、業務が煩雑	日本の空港を HUB空港として、 アジアと欧米間の円滑な貨物輸送を実現する。	第7次NACCS更改において対応予定
R03-052	貨物	GOL	仮陸揚貨物 取扱いにおいて、航空会社業務 GOL と同様の業務をFWDRでも使用可能としてほしい。 ** 空港間 及び 港—空港間の 仮陸 (保税運送含) を簡素化してほしい	仮陸貨物において、空港間、 港—空港間を 跨ぐ場合 処理が煩雑、及び マニュアル申請が必要な 場合が多い。	羽田空港着 — 成田空港発 (逆の場合も) の仮陸貨物においては、マニュアルでの仮陸届 申請が必要。 また 海上港着 — 航空空港発の場合、 多数の処理が必要になり、業務が煩雑	日本の空港を HUB空港として、 アジアと欧米間の円滑な貨物輸送を実現する。	第7次NACCS更改において対応予定
R03-053	貨物	GOL GOL01	GOLにて任意の便に対して呼び出しを行った際、一回の操作で全件の申告を行える仕様としていただきたい。	呼び出し件数は1回につき最大で18件。18件以上ある場合は、GOLより再度呼び出しをかけ、GOL01より申告しなければならない。	呼び出し件数が最大18件となっているが、場合によっては18件を上回る件数に対して保税運送 申告を行うことがある。現行の仕様において、 18件以上の保税運送 申告を行う際は、複数回にわたってGOLより呼び出しをかけ、保税運送 申告を実施する必要があり、1回の呼び出しで全 件を申告できる仕様としていただきたい。 例えば、1回の申告で全件の申告が可能になる、 1回目の申告後、未申告分が自動的に画面 展開する等。	・ 申告漏れ防止 ・ 重複作業の削減	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-054	貨物	HCH	HCH時における到着便名の入力	HCHにおいて到着便名の入力が必要である	上屋側においてFLT情報を入力している(又は 先行入力後にFLT変更となった際は上書きされる) ことから、HCH時の到着便名の入力を省略 出来ないか	HCH入力の効率化、時間短縮	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-056	貨物	HHC/HHCOW/H KA	保険料率登録可能数を拡大してほしい。	異なる保険料率のものは枝番5つまで入力可能。	荷主で貨物種類が多く、5つ以上の料率を登録 されたいケースがあるため。	包括申請番号が複数に分かれず、管理の煩 雑化を防ぐことが可能になる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-057	貨物	HPK	SPLITしている貨物で、HCHが入力されていない場合でも2ND以降のHPKが送信されるようにして頂きたい。	SPLITしている貨物で、HCHが入力されていない場合においては2ND以降のHPKが送信されな い。	SPLITしている貨物で、HCHが入力されていない 場合でも2ND以降のHPKが送信されるようにして 頂きたい。	貨物がSPLITして全量到着している場合であ っても、HCHが入力されていない事が原因 でHPKが出来ない為、代理店のHCH入力が されている事を弊社で日々確認しなければ ならない為。 また、一部の代理店の方においては当仕組 みを知らない方もいる為、MAWBはNACCS上 全量到着しているのに何故HAWBはNACCS上 突合されていないのか?という問い合わせ があり、都度説明しなければならず、弊社 ⇄一部の代理店の方において手間となって しまう。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-060	貨物	ICG	画面内のスクロール柔軟化	ポインタが1行より多い表示空間に入るとスクロールが止まってしまう。	どこにポインタがあってもスクロールできるよ うにしてほしい。	画面の閲覧を迅速にできる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-061	貨物	ICG	出力コードのヘルプ情報の表示	「更新業務」「貨物状況」「事故」などの欄に「ATD」「M/F」「CHAFE」などコードが表示されるが、コード表で検索しないと内容が分からない	出力コード（「ATD」や「M/F」など）の入っている枠内をクリックすると左の入力項目ガイド欄に内容説明が表示される／右クリックして内容表示を選べる、などしてほしい。	迅速・正確な確認ができ、業務の効率化が図れる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-063	貨物	ICG	経由地でのVAN等未実施	経由地VANの場合、経由地で乙仲がVANが行われないと、搬入先のCYでICGを行えず、パンニング状況を確認できない。	経由地が登録されている場合であっても、搬入先のCYでICGできるようにしてほしい	貨物情報をより速いタイミングで確認できるようにになる。	2023年度実施予定
R03-067	貨物	ICG、ICN	輸出コンテナのCY搬入先入力ミス	輸出コンテナを船積の都合で、別CYに保税運送されてくることもある。その際に、発送元のCYにて、CY0で搬入先を入力ミスする可能性がある。その場合、搬入先でCYAを行うまでの間、ICG、ICNで「許可・承認状況」を確認できない。	誤った搬入先に向けてCY0が行われた場合であっても、ICG、ICNで「許可・承認状況」を確認できるようにしてほしい。	貨物情報をより速いタイミングで確認できるようにになる。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-068	貨物	ICI	ICIの積出港に、ECR（貨物情報DB）も参照してほしい。	ECRは海貨・通関担当が、VAN/VAEは保税蔵置場担当がそれぞれ行なうため、輸出貨物の受地港と（本船への）積地港が異なるようなケースでは、保税蔵置場担当がこれを必ずしも正しく認識できず、積出港に受地港を入力してしまうケースがある。ICI業務では積出港コードの入力が必須であるが、このような時に確認したい情報が一度で検索できず、複数回実施したり、ICN業務で輸出申告上の積出港が問題ないかどうかを確認している。この手間を軽減するために、・ICIの積出港に、VAN/VAE（コンテナ情報DB）だけではなくECR（貨物情報DB）も参照し、その結果を表示してほしい。・もしくは積出港を入力必須から外す（現状ではCY以外は入力必須）、ないし複数（最大3つ程度）の港コードを入力可能として欲しい。	ICIの積出港に、VAN/VAE（コンテナ情報DB）だけではなくECR（貨物情報DB）も参照してほしい。もしくは積出港を入力必須から外すか、複数港コードを入力可能として欲しい。	確認したい情報が一度で検索できず、複数回実施したり、ICN業務で輸出申告上の積出港が問題ないかどうかを確認する手間の削減。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-070	貨物	IDB, IDC	BND搬入済み貨物の情報共有	B/L番号でBND済みであってもIDB, IDC業務ではその他の貨物情報を書きしない。手動で貨物情報を書きしている	BND貨物はIDBまたはIDCで貨物情報を自動的に書きしてほしい。	審査済み貨物の搬入時自動申告の起動業務を拡大して、敏速な許可をする。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-071	貨物	IDC	特例輸入申告日以降の入港年月日の処理	特例輸入申告は輸入港到着前に行うことが可能であるにもかかわらず、入港年月日を申告時より未来日で入力した場合エラーとなる。（エラーコード：E0147）	特例申告等の場合、入港年月日を入港予定年月日に変更し、未来日の入力を有効として頂きたい。		システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-073	貨物	IMA		IMAを印刷した場合、ページ数が多くなると1ページ目の印刷が2枚にまたがる。紙の無駄になるので1ページ、1枚の印刷にまとめてもらいたい。		紙の無駄になる	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-074	貨物	IMI	REFコンテナ温度情報の取得	現行のNACCSに温度情報がない為、M/F情報を取得するIMI業務で取得できない。	REFコンテナ温度情報は、CYには必要な情報であるが、データ量が多い場合、M/Fからの転記作業となり時間がかかる。	NACCSからREFコンテナ温度情報が入手できない場合は、M/Fからの転記作業となってしまうため。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-077	貨物	IMI-T	到着地CODEが表示されるようにしてほしい。	船舶CODE、揚げ地で縛ると、現在はB/L NO, 包括保税輸送承認番号のみがリストアップされる。	現在の表示に加え、到着地CODEが表示されるようにしてほしい。（同一包括保税輸送番号でありながら、異なる到着地CODEの場合があり、IMI-Tの画面上で確認出来るようにしたい）	誤登録防止、W-CHECK時の時短、効率UP.	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-078	貨物	IWH	IWH	<毎日使用> ・IWHリストにおいて、貨物種別Aの搬入年月日が空欄となる。 ・仮陸揚期間に対するアラート表示機能を持たない。 ・一画面での表示件数は20件であり複数画面の展開を必要とする。	<保税蔵置場> ・IWHリストにおいて、貨物種別を問わず搬入年月日を表示させる。 ・仮陸揚期間が近づいているものに対するアラートを表示させる。 ・一画面での表示可能件数を増やし、一度の画面展開で情報閲覧可能とさせる。	搬入年月日が表示されない貨物に対して個別にIGS検索を実施しているため、業務効率化となる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-079	貨物	IWH	搬入年月日 仮陸揚貨物の搬入年月日は到着蔵置場が異なる場合、反映がされないが、到着蔵置場に関わらず、仮陸揚開始日を搬入年月日へ反映させてほしい。	毎日行なう全社を対象にした上屋貨物インベントリーで使用。 搬入年月日のブランクになっている場合(別上屋からのTRSF貨物)、IGS画面(KARI情報)を展開して仮陸揚げ開始時期を確認している。	仮陸揚貨物の搬入年月日は到着蔵置場が異なる場合、反映がされないが、到着蔵置場に関わらず、仮陸揚開始日を搬入年月日へ反映させてほしい。	要望が叶えばIWH画面のみでインベントリー作業を行なうことが可能になり、1件毎に画面を展開する作業工数、及び費用削減に効果がある。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-080	貨物	IWH	個数 CLAIにて一部個数を搭載完了した場合に、残個数が正しく反映されない(全量個数のまま)ことがあり、反映させてほしい。	毎日行なう全社を対象にした上屋貨物インベントリーで使用。 実インベントリー個数とIWH画面の個数に差異がある場合、IGS画面を展開して一部搭載済であるか確認している。	CLAIにて一部個数を搭載完了した場合に、残個数が正しく反映されない(全量個数のまま)ことがあり、反映させてほしい。	要望が叶えばIWH画面のみでインベントリー作業を行なうことが可能になり、1件毎に画面を展開する作業工数、及び費用削減に効果がある。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-081	貨物	IWS		日々、IWSを出力し搬入登録済みで未搬出貨物情報をチェックしている。	IWS(貨物在庫状況照会情報)輸出の欄に出港予定年月日を追加してほしい。	出港予定年月日の記載がある事で、搬出登録漏れ(VAN, BOC漏れ)の貨物情報を絞れる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-082	貨物	IWS	在庫情報への項目追加	輸入許可が下りた情報は土日祝を除く14日後に在庫から削除されるが、いつ削除されるかわかりにくい。	輸入許可が下りた情報は土日祝を除く14日後に在庫から削除されるが、一目でいつ削除されるかわかるように表示してほしい。	在庫チェックの際、分かりやすようにする為。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-083	貨物	IWS	参照出来る情報を増やしてほしい。エクセルなど編集可能なファイル出力がほしい。	現在の仕様では保税地域単位でしか出力できない。コンテナ一覧表のみ参照できる。	保税地域コード別の情報参照を本船単位での情報参照を可能にしたい。また、コンテナ情報に貨物管理番号、搬入からの日数も併せて参照したい	長期貨物を週単位で管理できる為。お客様からの誤送信などによる不要なデータなどに早期対処できる為。イレギュラー(マニュアル対応)時のデータを週報と併せてデータの保管が可能となるため	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-084	貨物	IWS/ICI	システム仕様の変更	BIG後のBULK貨物の蔵置はIWSでのみ抽出	ICIでコンテナとbulkを本船単位で呼び出しができるよう紹介種別の追加	船積完了処理の際、送信件数が把握でき送信漏れや誤送信を防げる	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-086	貨物	MFR	REFコンテナ温度情報の登録	現在のMFR業務で登録している内容にはREFコンテナの温度設定情報がない。	REFコンテナ温度情報は、CYには必要な情報であるが、NACCSに温度項目が存在しない為。	NACCSに登録できない場合は、担当者がREF温度情報をM/Fからの転記作業となってしまうため。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-087	貨物	MHO	MHO業務の失念対策	MHO業務の期限内登録を失念した場合、そのまま保税管理資料として出力される。	MHO業務の期限内登録の失念があった場合、期限の前々日までにユーザーへ警告のメールを自動配信して欲しい。	MHO業務の登録もれは、保税非違として処分対象となることから、事前警告のメールを自動配信することにより、保税非違を減少させることができる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-092	貨物	OVS	「訂正」業務の追加	訂正が行えない。 訂正が発生した場合、システムでの再申請は出来ず、マニュアルで書面での提出が必要。	NACCSでの「訂正」業務の追加	バース繰りや本船動静により、使用岸壁や時間に変更が発生した場合に迅速な手続が可能となる。またコロナ対策、ペーパーレスの推進にも繋がる為。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-094	貨物	RSS	RSS業務をRSS実施済みであっても行えるようにしてほしい	船会社の引渡場所都合によるOLTでドレー(RSS1回目)し、OLT後の搬入先CYへ通関業者等が搬出依頼(RSS2回目)するとき2回目ができない(デバンせずコンテナ詰めのまま)	RSS実施済みであっても、後続CYで再度RSSできるようにしてほしい	利便性が向上する。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-095	貨物	RSS01	輸入コンテナ引取予定ID確認情報 出力の際の表示内容	貨物引き渡し番号、コンテナ番号、フリータイムなど必要最低限の表示	現在の内容に加えて、コンテナサイズ、タイプ、貨物状況、荷渡可能表示を追加で表示してほしい。	理由として、輸入コンテナ引取予定ID確認情報を受信した際に改めて貨物情報を確認しなくてもコンテナ引取可能かが一目で確認できる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-096	貨物	SHS	貨物の仕分け欄数を増やしてほしい。	現在貨物の仕分け欄は、20までです。	貨物の仕分け桁数を増やしてほしい。	スマートに業務をこなすことが出来る。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-099	貨物	VAE11	内容確認メッセージの表示	パンニング情報を登録する際、ECRの情報と相違があっても進んでしまう。	パンニング情報を登録する際、ECRの情報と相違がある場合は、内容確認メッセージが出るようにしてほしい。	入力ミスをなくすため。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-105	貨物		許可確認業務	日にちを指定しその日、輸出許可となった許可情報を一覧できる業務はあるかと思いますが、日にち指定ではなく、airwaybill番号を連続して入力し、その入力したairwaybill番号が輸出許可となっているかを一覧で確認できる業務を作っていただきたいです。IGS業務では1件ごと確認はできると思いますが、一覧で確認したい為。理由は、輸出許可は切るとの搭載日はまちまちです。ですので、例えば、本日仕立て=明日搭載分が確実に許可になっているかを、夕方、airwaybill番号を打ち込み、一度に確認したい為です。			システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-106	貨物		輸出貨物搬出入データへの金額情報の追加要望	現在、保税蔵置場用に活用している輸出貨物搬出入データにFOB金額の情報を追加して配信して頂けると、保税工場の台帳としても活用できるのでお願いしたい。*保税工場の台帳は貨物の金額も記帳項目となっている為、現在の輸出貨物搬出入データを保税台帳として活用できない為。もしも、当該要望が叶えば、保税工場のNACCS加入も飛躍的に増加すると予想します。			システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-109	貨物		汎用申請について、現状、他所蔵置貨物の積みリスト申請がNACCS汎用申請の項目にない	マニュアル申請のみとなり、税関へ用紙を提出	NACCS汎用申請で実施したい	税関への移動時間（往復1時間）を削減したい	関係省庁に伝達し、今後も継続して検討いたします
R03-111	貨物			①NACCS EDI電文にて授受している。 ②SMTPを利用したデータの授受をしている。 ③運転状況メール配信サービスの推奨環境がMicrosoft Internet Explorer 11となっている。	①FWB/FHL/FFMといったIATA標準のMSG/XMLへの準拠を希望いたします。 ②MQでのデータ交換を行う。 ③運転状況メール配信サービスのChrome対応	①IATA標準の形式に準拠されることでシステム間の情報連携が簡易になり、各航空会社側で特別な機能の作り込みが不要になる。 ②データ量制限の緩和や通信料の低減化、メッセージの監視機能を取り入れられる可能性がある ③IE11のサポート終了を見据えた事前の対応をすするとともに、Chromeでの利用を可能とすることで利便性向上につながる。	①システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-112	貨物		海上貨物から航空貨物への切替時の仕様変更	CY等からCHG業務を行わずに搬出された場合、受け側の倉庫ではBIA業務を行い、汎用申請で海上貨物のデータ削除を依頼している。 合わせて、Air-NACCSにてBII業務を行い航空貨物として搬出を行っている。	CHG業務を行わずに搬出された場合でも受け側の倉庫で航空貨物に切替を行って搬入確認ができるようにしていただきたい。	航空貨物取扱倉庫側での業務簡素化が見込まれる。 (情報確認や汎用申請等の時間削減)	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-113	貨物		保税管理資料での出力情報の改善	保税台帳に許可年月日が出力しない場合がある。その場合、搬出入に関わる書類を紙で保管したり、手入力で管理しているので、運用が煩雑となっている。 税関には特に指摘はされていない。	税関手続き種別がTEKなどの場合は、許可年月日が出るようにしてほしい。	保税台帳に関するマニュアル処理が減り、より適切な管理が行えるようになる。	第7次NACCS更改において一部対応予定
R03-116	通関	ACLO1, VAE	双方の業務の共通項目の連動化	双方の業務で、個々に 共通項目（コンテナ番号、シール番号等）を入力している。	貨物管理番号等で共通項目の連動化を図ることで、先に入力した内容がそのまま、生かされれば、二重入力は不要となる。	二重入力の回避と入力ミス及び確認行為の省略化	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R03-117	通関	AMA	修正申告履歴のアラート表示できる仕様	現在お客様により若しくは社内管理において確認出来れば過去のデーターを呼び出せるが、二度目若しくは複数回修正申告をしている事に気づかない時は当初申告と今回の修正申告という事と捉えてしまう	ひとつの申告において修正申告の経歴があることをアラート表示をし、当初の修正内容を引用出来るようになると更にスムーズに適正な修正申告の対応が可能になる。	履歴が判明することにより、税関からも指摘を受けず、事前に顧客と話し合い正しく修正申告が実施できる。また税関との往復時間も短縮でき、二度手間にならない。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-118	通関	AMA	以前に修正申告をした経歴があるかをアラート表示	以前1度修正した申告であっても、気付かなければ当初申告のデータに修正を加えることになる	当初申告番号、申告日、等ですでに修正申告の経歴があることをアラート表示。また以前の修正内容を引用可能。	複数回の修正申告を正しく行うため	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-119	通関	AMA	以前に修正申告をした経歴があるかをアラート表示	以前1度修正した申告であっても、気付かなければ当初申告のデータに修正を加えることになる	当初申告番号、申告日、等ですでに修正申告の経歴があることをアラート表示。また以前の修正内容を引用可能。	複数回の修正申告を正しく行うため	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-120	通関	AMC	AMC(修正申告本申告)業務で出力される関税修正申告控に延滞税額が表示されるように願います	関税修正申告控には記載されていない。	概要に記載の通り	ICD業務で別途確認しなければならない。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-121	通関	CCA	同じ通関事業所でしか通関士審査が出来ないが、事業所をまたいで出来るようにならないか。	U0016 入力者は申告予定者または申告可能者ではない	少数の通関士しかいない通関営業所の通関士審査を他の営業所の通関士が審査することで申告を進められないか		システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-122	通関	CCA	入力済みの申告番号一覧を呼び出し、該当の申告番号に“Y”を入力する。一度の業務で複数申告番号に対してCCA業務を完了させる仕様に変更頂きたい “イメージとしては、IDIのような申告番号一覧画面から該当の申告番号に通関士審査済Y入力を行えるような仕様。	CCA業務コードより、申告番号、申告種別、通関士審査結果Yを入力している。入力手数が多	申告番号一覧より、該当の申告番号に通関士審査済Yを入力可能とする	作業工程の簡略化、業務効率化	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-123	通関	CCA	申告内容変更すると再度CCAを行わなければならない。再度CCAを行わなければならない業務について検討して欲しい。	CCA後、1ヶ所でも内容変更があった場合、再度CCAが必要となる	申告日・他法令の共通管理等の通関士の再審査が必要ないと思われる業務については再度のCCAの必要が無いと思われる。通関士の審査が必要な場所と、そうでない場所を分けし、通関士審査が必要ない箇所は、再CCAを行わなくても良いように変更して欲しい。		他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-124	通関	CCA	CCA(通関士審査結果登録 海上)業務の改善要望	せっかくCCA業務をしても、輸入貨物が搬入され倉庫で搬入確認した結果(タリーシート)から、申告内容の訂正を行う(マーク訂正、荷姿訂正、数量訂正、申告外物品(温度計や段ボールなど)等)ことが多く、通関士審査結果が無効となって再度CCA業務を行う仕様となっています。	①CCA業務を行った場合、何回も申告内容を訂正しても無効にしないよう要望します。再度CCA業務をしなくて済みますので在宅勤務等に特に効果が期待されます。 ②仮に、①が難しい場合、マーク及び荷姿については、入稿日同様に本申告するとシステムから補完される様に要望します。システムから補完されることにより通関士が申告内容の訂正を行わなくて済むため、再度CCA業務する回数が減少することが期待されます。		他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-125	通関	CHS	CHSの取消業務を追加して欲しい	通関業者がCHSで仕分けした場合、通関業者で取消が出来ない	SHSの場合は、通関業者側で取消が可能となっているので、通関業者でCHSし、倉庫でのCFS前であればCHSを取消できるようにして欲しい。	仕分けの変更を行いたい場合、倉庫側へ依頼し変更してもらう必要が有る。SHS同様の仕様として欲しい。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-126	通関	CKO	検査指定票出力フォームの改善要望。	文字が小さい為、運転手がコンテナ番号を確認しづらい。	文字を大きくして欲しい。検査日時とコンテナ番号だけでも(内容の部分)見やすくして欲しい。	老眼のトラック運転手が多いので、確認しやすくすれば間違えも防げ、受け渡しもスムーズになる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-130	通関	EAA	変更識別(N:数量変更/S:船名変更)の訂正制限緩和	変更識別の「N」または「S」を選択し、1度NACCS送信すると申告前でも訂正が不可能になる。	NACCS送信しても申告前であれば訂正を可能にしてほしい。	変更識別を逆に入力しても申告前であれば訂正できる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-131	通関	EAB	変更理由コードの表示	NACCS掲示板で確認	入力項目ガイド欄に変更理由コードの一覧を表示	都度NACCS掲示板で確認する手間を省略できる。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-132	通関	ECR	3. ECR→ECRの搬入予定日欄に過去の日付が入らず、搬入済のACTUALの日が入れない。	3. 現場からの報告のタイムラグで輸出貨物の搬入後にECR入力を行うことがあるが、過去の日付が入らないため実際の搬入日が入れない。	3. ECRの搬入日時は過去でも入れられるようにしてほしい。	3. 未来の日付しか入れられないのは現実的ではないため	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-134	通関	ECR11 EDB	ECR11にてマークの変更後、輸出申告書にも自動的に反映させてほしい	ECR11にて変更後、EDBでマークをblankにしてマークの変更を反映させる必要がある	ECR11にてマークの変更後、輸出申告書にも自動的に反映させてほしい	輸出申告書に自動的に変更が反映されることで、申告内容のミスが減る	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-135	通関	EDA	輸出申告書作成時の仕入書価格欄の改善	「仕入書価格」の欄に建値FOB価格を入力した場合、下欄の「FOB価格」に金額を入れても登録できてしまう	「仕入書価格」の欄に建値FOB価格を入力した場合、下欄の「FOB価格」に金額を入力した場合はエラーで登録できないようにしてほしい	入力ミスによる非違の削減	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-138	通関	EDA	欄の挿入。	欄の削除は可能だが挿入は不可	欄削除と同様に挿入も可能としてほしい	換算、HS変更により欄が増えた場合、計算書通り(価格の高い順)に申告書したい	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-140	通関	EDA	仕向人欄の国コードについて、空白であった場合はエラーになるか、エラーメッセージが表示されるようにして欲しい。	国コードが空白であっても何の警告もなく申告までできてしまう。	仕向人欄の国コードが空白であれば誤申告となるので、エラーになるか、エラーメッセージが表示されるようにして欲しい。	誤申告を防ぐことができる。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-142	通関	EDA	輸出管理番号にダミー番号を用意して欲しい。	ECRが入力されていないなど貨物情報がない場合、EDBを入力することができない。弊社では別貨物の貨物情報を仮データとして入力している。	G/Wが未確定などの理由でECRが入力されていない貨物について、先にEDBの入力、チェックができるようにして欲しい。	貨物情報入力されていない場合もEDBを入力、チェックができるようになり、業務の効率化につながる。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-144	通関	EDA	輸出許可貨物の併せ保税運送期間の拡大	7日間	1カ月へ延長	気象状況により併せ運送承認期間内に到着できない場合があるため。	関係省庁に伝達し、今後も継続して検討いたします
R03-145	通関	EDA	貨物重量 (G/W) の項目削除	入力が必要となっているが必要性がないと思われる (マニュアル申告書なし)、AIR NACCS は項目なし	貨物重量 (G/W) の項目削除	マニュアル申告書・輸出搬入確認登録 (BIC・CYA) にG/W項目なし、許可後訂正項目の削減	システムの改修規模が大きい (改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等) ため対応が困難
R03-146	通関	EDA	EDA事項登録の画面にある申告番号欄に不注意や誤操作によって予期せぬ申告番号等が入力できないようにする。	EDA画面を展開するとカーソルが「申告番号欄」に位置している。	初期に事項登録を行う場合には、「申告番号欄」に①カーソルを配置しない、②入力不可のいずれかとする。	不注意や誤操作によって予期せぬ申告番号が入力された場合は、既に登録済みの申告内容が上書きされて別内容になり、通関上の事故につながる可能性がある。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-147	通関	EDA	ショートカットキーの機能の追加	複数欄の申告で繰返部の入力を行う際、他法令以下の入力がない場合はBPR按分係数を入力した後にキーボードの「Tab」を連打して次の欄まで移動し順次入力している。	ショートカットキーの機能に、「次の欄へ移動する」機能を追加して頂きたい。	複数欄申告の際に次の欄への移動がスムーズになり、入力の効率化とミスの削減に繋がる。	システムの改修規模が大きい (改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等) ため対応が困難
R03-148	通関	EDA	ショートカットキーの機能の追加	6欄以上の申告で繰返部の入力を行う際、5欄目を入力後6欄目に移る時はページが変わるため、「次に移動」ボタンをクリックしなければいけない。	ショートカットキーの機能に、「次のページへ移動する」機能を追加して頂きたい。	複数欄申告の際に次のページへの移動がスムーズになり、入力の効率化とミスの削減に繋がる。	システムの改修規模が大きい (改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等) ため対応が困難
R03-149	通関	EDA	仕入書価格 FOB について	仕入書価格欄 FOB JPY 14,008,140 と入力し、FOB価格欄 JPY 13,307,733 価格が一致しないにもかかわらず、エラー対応無し。本件に於いては、建値 G&Fを誤って、FOBと入力した事例	仕入書価格-建値欄 FOB入力の場合、一行下段のFOB価格欄の金額に差異が生じた場合エラー扱いとして欲しい。	適正申告の確保・非違の削減	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-151	通関	EDA EDC	EDA (事項登録) と EDC (申告控) のデータの配置を同じようにして欲しい。	「コンテナ本数」や「輸出者 (入力)」など、入力画面と出力画面で配置場所が全然違う。	入力画面と出力画面で確認しやすいよう、基本的に同じ配列・順番で表示して欲しい。	入力したものが、どこに出力されるのか、わかりにくいのでストレスを感じる。特に初心者に教える際に配列全然違っていると教えるにくい。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-155	通関	EDB	内貨バンニングの際に複数のバンニング場所がある場合、2箇所目以降の入力欄がない為、増設して欲しい。	EDBの入力欄に複数のバンニング場所がない為、税関記事欄等に直接入力している。	内貨バンニングの際にバンニング場所の入力欄を増設して欲しい。	内貨バンニングの際に複数のバンニング場所で行うことがあり、専用の入力欄があると輸出許可書の記載が見やすくなる。	システムの改修規模が大きい (改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等) ため対応が困難
R03-158	通関	EDC・CEE	輸出許可書の印刷設定を荷主単位で出力可否設定	現在の設定では、出力コード単位で自動印刷指示を設定できる仕様になっている。	ペーパーレス化が進み、紙媒体での輸出許可書を希望しない荷主が増えており、紙媒体での許可書が欲しい荷主と紙媒体が不要な荷主とが混在している状況である。現在の仕様では出力コードで自動印刷設定する運用となっている為、荷主単位で個別で自動印刷指示が出来ず、全て自動印刷設定する設定にして、印刷不要な許可書は印刷後破棄しており、紙を無駄にしている。	荷主単位など、細かい設定で印刷設定が出来れば、効果的なペーパーレス化が可能となり、印刷用紙の費用が大幅に節約できる。	システムの改修規模が大きい (改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等) ため対応が困難
R03-159	通関	HYS	申請手続種別コードG83、船名・数量等変更申請の結果を通知してほしい	受理確認の通知のみ出力される	変更前後の情報がわかる通知が欲しい	変更後の内容を確認するためには原本を窓口提出する必要があり、左記が可能となれば窓口提出が不要となる。	システムの改修規模が大きい (改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等) ため対応が困難
R03-160	通関	HYS	申請手続種別コードG83、船名・数量等変更申請の結果を通知してほしい	受理確認の通知のみ出力される	変更前後の情報がわかる通知が欲しい	変更後の内容を確認するためには原本を窓口提出する必要があり、左記が可能となれば窓口提出が不要となる。	システムの改修規模が大きい (改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等) ため対応が困難
R03-161	通関	HYS	HYS業務のうち通関士審査が必要な手続きについても、通関士IDでない場合も送信可能な仕様となっていて、HYS送信した通関士が遺憾ながらID違いに気付けないまま申告、許可となる通関事故が発生。	通関士審査が必要なHYS業務 (申請) については、通関士IDでない場合に送信エラーとなるよう仕様変更お願い致します。	通関士審査が必要なHYS業務 (申請) については、通関士IDでない場合に送信エラーとなるよう仕様変更お願い致します。	HYS送信時にエラーとなれば、通関士が確認に要する時間の更なる低減につながり、税関含めた関係者の無用な業務等の低減及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします。	システムの改修規模が大きい (改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等) ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-164	通関	IAS	IAS担保照会情報で照会できる項目を増やしてほしい。	提供した担保の基礎情報及び照会時点の担保引落とし残高は確認できる。	指定期間中の担保利用状況が税関別もしくは官署別に表示されるようにしてほしい。	全国で使用可能な包括担保を提供しており、担保管理や輸入通関実績の把握が容易となる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-165	通関	IAW	AWB番号を他データよりCOPY→貼付けして利用する際に全桁表示できるような仕様の変更	AWBを他データよりCOPY→貼付けすると、最初のボックスに頭3ケタのAWB番号のみ入り、残りのAWB番号は再度他データよりCOPY→貼付けもしくは手入力している。	AWB番号を他データよりCOPY→貼付けして利用する際、頭3ケタのAWB番号を最初のボックスに入れ、残りのAWB番号を後続のボックスに入る仕様にしてほしい。もしくは海上ICGのBL番号と同様にAWB番号のボックスを1つにまとめてほしい。	IAWを利用する各利用者の手入力等による誤入力防止及び作業の効率向上へ大きく寄与する。	第7次NACCS更改において対応予定
R03-168	通関	ICN	コンテナが複数の輸出申告のコンテナの搬入確認を、1つのコードで行えるようにしてほしい	コンテナ搬入確認の際、ICNで1本ずつ確認を行なっている	ブッキング番号等で、複数本のコンテナの搬入確認を1度に行えるようにしてほしい	10本以上のコンテナ貨物を1申告で行う場合、搬入確認を1度に行えると便利である	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-173	通関	IDA	輸入申告の包括保険番号の入力で、航空と海上とが枝番で識別されている場合誤った枝番が入力されたらエラーで事項登録ができないようガードをかけてほしい	間違った枝番が入ってもそのままIDAできてしまう。（エラーにならない）	輸入申告の貨物保険の入力で、航空と海上とが枝番で識別されている場合誤った枝番が入力されたらエラーで事項登録ができないようガードをかけてほしい	航空と海上で保険料率が異なる場合があり、誤入力により課税価格の算出に誤りが生じる可能性があるため。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-178	通関	IDA	保税上屋コードの自動入力について	保税上屋コードを都度入力しなければならない。	突合している貨物についてはAWB番号を入力するだけで、積載機名や積出地と同じように保税上屋コードも自動で引いて頂きたい。	それぞれの航空会社がどの保税上屋に搬入されるか把握しておく必要があり、場合によってはIAWを行い事前確認する作業が必要になるため。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-181	通関	IDA	原産国が日本製の場合の原産地コードJPを使用できるようにする	日本製の場合仕出人の国の原産地コードを便宜的に入力している	日本製品の場合原産地コードJPを使用できるようにしてほしい	日本製であることが明確になり、原産地コード適用間違いを防止できる	関係省庁に伝達し、今後も継続して検討いたします
R03-188	通関	IDA	IS承認の際、AIR NACCSなどでNACCS対応できない倉庫は、後続業務ができないのでマニュアル（紙）対応になる。これらの貨物が後続業務ができるようにしてほしい。	後続業務ができない貨物は、マニュアル対応になる。	どんなパターンでもNACCSで後続業務ができるようにしてほしい。	システムに反映されれば、効率的な業務が可能になるから	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-189	通関	IDA	記事欄の入力桁数の変更をお願いしたい。	EDA業務の記事欄の桁数が少ない。	入力桁数を増やしてほしい。	正しい情報で申告を行え、適正な申告を進めることができる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-191	通関	IDA	「苛性ソーダの製造業を営む者が自ら発電の用に供する石炭の石油石炭税の軽減税率の適用又は特定石炭若しくは沖縄発電用特定石炭等の石油石炭税免除のための用途証明申請書」の内容をデータ化し担保のように申告後、残高から引き落とすような改修ができませんでしょうか。	NACCS上に「苛性ソーダの製造業を営む者が自ら発電の用に供する石炭の石油石炭税の軽減税率の適用又は特定石炭若しくは沖縄発電用特定石炭等の石油石炭税免除のための用途証明申請書」のデータがない。輸入許可の都度税関に原紙を提出し確認の押印をいただいている。	「苛性ソーダの製造業を営む者が自ら発電の用に供する石炭の石油石炭税の軽減税率の適用又は特定石炭若しくは沖縄発電用特定石炭等の石油石炭税免除のための用途証明申請書」の内容をデータ化し担保のように申告後、残高から引き落とすような改修ができませんでしょうか。	最初にデータを作成する手間はかかりますが、一度データ化すれば、税関・通関業者の双方の事務作業の効率化が図れるため。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-192	通関	IDA	輸入（引取）申告の入力控に、複数欄に入力したインボイス金額の合計の印字	申告種別：Nで、複数欄の入力を行った場合、BPR合計金額が印字されない。	輸入（引取）申告の入力控に、複数欄に入力したインボイス金額等の合計金額を印字して欲しい。	金額の入力ミスの防止	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-195	通関	IDA	口座番号の入力控へのデータ反映	申告控に使用口座番号の印字がされない為、番号が正しく入力されているかの確認はIDBにて実施している	口座番号の入力控へのデータ反映可能とするようにしてほしい	入力ミスの防止	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-196	通関	IDA	統計除外の場合の数量欄への入力方法の変更	航空分に関して、数量がKG以外の入力が必要なHSの場合、都度入力して運用	統計除外の場合の数量欄への入力しなくても申告可能とするようにしてほしい	入力ミスの防止	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-197	通関	IDA	再輸入申告時の統計上除外の税番末尾の入力方法	無償の展示品の再輸入の場合に、日本製であれば「Y」入力し、それ以外は「E」入力しておりますが、無税品では「E」入力できるものの再輸入申告時の有税品で統計上除外のため税番末尾に「E」入力する場合はNACCSでははじかれてしまいます。	有税品であってもE入力可能にして欲しい	統計上除外品であっても、有税品であれば統計上するしか入力方法が無い為。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-201	通関	IDA	口座番号の表示	輸入申告書上に口座番号が表示されない	輸入申告書上に口座番号の表示	荷主もしくは通関業者、どの口座を使用するのか、書類審査時に確認できる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-205	通関	IDA	仕入書識別欄の使用について	A, B, C, Dのいずれかの入力が必要	欄の削除希望	弊社はBのみの使用につき。A, C, Dをどのように使用するのかイメージがつかない	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-206	通関	IDA	重量以外の第1数量未入力の場合のエラー表示希望	N0などの第1数量を入力する必要がある税番にたいして第1数量を入力し忘れていてもエラーにはならない	第1数量の入力忘れの際にはピンクのエラーを表示して頂けると入力忘れを防ぐことができる	入力忘れを防止し誤謬を減らす	検討対象外（プログラムに関する案件以外の要望等）
R03-208	通関	IDA	1. IDA→CIFで海上保険付保の場合、入力する欄はあるのに自動計算しないのが不便。	1. 契約条件がCIFなど保険込であっても輸入者が別に海上保険をかけている場合、入力は出来るが自動計算されない。	1. 保険欄に入れた金額は課税価格算入が自動でされるようにしてほしい。	1. 課税価格手計算誤りの防止、業務合理化	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R03-215	通関	IDA	「納期限延長」、「納付方法」が空欄で送信した際、警告のメッセージが出るようにしてほしい。	「納期限延長」、「納付方法」が空欄のままでもIDA、IDC共に特に警告無しで送信できる。		昨今、リアルタイム口座利用率が高く、納付書での税金の納付は納期限延長を利用する場合を除けばほぼ無い。誤送信防止のためにIDA時に「納期限延長」、「納付方法」が空欄のまま送信した際は警告メッセージが出るようにしてほしい。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-216	通関	IDA	繰返部-画面に於ける、ショートカット機能の追加	繰返部-画面 内国消費税【内消費税種別】の1に【F4】を入力後、次の欄【品目番号米】に行くまでに、Enterキーを18回、又は、キーボードから手を放し、マウスにてカーソルを合わせている。※消費税のみの場合	【F4】入力後、次の欄【品目番号米】まで移動出来る、ショートカット機能の追加	全国の通関士・従業者の業務効率up	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-217	通関	IDA	共通部の入港年月日欄が空白の場合のエラー表示追加	現行では空白のままでも申告が可能	共通部の入港年月日欄が空白の場合はエラー表示が出てほしい	申告書の入力漏れを防ぐ為	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-220	通関	IDA, EDA	欄の挿入ができるようにしてほしい	繰返部で右クリックをすると、「画面クリア」の「選択した繰返部をクリアして詰める」があり非常に便利だが、「選択した繰返部を挿入して追加する」が無い	集計の誤りなどでIDA(EDA)の訂正をする際、挿入ができない為に、以降の欄を全て打ち直す必要があり、欄が多い際に手間である	入力の簡素化	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-221	通関	IDA, IFA	IDAとIFAの間で共通管理番号によるデータの呼び出しを行うように変更	IDAとIFAの入力の際。共通管理番号を入力してリンクさせているが、輸入者欄やB/L番号欄など共通の項目について同じ内容を2度入力する必要がある。	共通管理番号でリンクさせた時に、IDAからIFA、IFAからIDAに同じ項目の入力内容を反映させるように変更して頂きたい。	同様の内容を二度入力する必要がなくなり、作業の効率化のミスの削減に繋がる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-222	通関	IDA/EDA	IDA/EDAの記事欄（税関用、通関業者用、荷主用）の桁数増	税関用140桁、通関業者用と荷主用各70桁	税関用200桁、通関業者用と荷主用を各100桁	免税容器の名称や個数、番号を入力する際に不足が生じている。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-224	通関	IDB EDA, IDA	繰返部「品目番号」を入力しなおした際に、「品名」欄が変更されていない場合に注意喚起をする、または自動補完の場合は「品名」欄を正しい品名に自動で保管しなおす	既存のIDA情報をIDBで呼び出し、「品目番号」欄を入力しなおした際、「品名」欄が入力され直されなくても、エラーやアラートなど何も表示されず、品目番号と品名との不一致のまま申告してしまい、誤謬となってしまうことがある	IDBで「品目番号」のみ訂正され、「品名」が変更（または自動保管の場合は削除して空欄化）されていない場合、エラーやアラートを表示するか、または品名の自動補完で品目番号に即した品名に自動保管しなおしそのことを通知してほしい。	ミスに気が付くことができる、品目番号と品名の不一致のままの申告を防げる	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-225	通関	IDB/IDC	申告控の保存期間	現在、輸入申告入力控を登録後、NACCS上における保存期間がおよそ1週間程度である。	NACCS上における入力控の保存期間を約2、3週間程度保存できるように改善して頂きたい。	本船の遅延、長期休暇等（GW/年末年始）でNACCS上のデータが消えることが多いため、再度入力する必要がある。業務が増えるうえ、入力ミス等に繋がる。	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R03-227	通関	IDC	審査区分3で審査終了済み貨物の識別	審査区分3の書類で検査取り止めとなった場合に取り止めの通知が申告端末に配信される場合とされない場合がある	審査区分の変更は作業区分において重量なポイントですので、審査終了(CEA)で自動自動で変更内容を通知する。	敏速な貨物引き取りのため	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-230	通関	IDC	TPP11適用に際して国ごとに譲許税率が異なる場合の入力エラー表示を新設。	現在、TPP11適用貨物の原産地入力コードで入力された国では税率が誤っているが入力エラーもなく申告まで至っている。 (例: 441231-9380) ベトナム産 正: VN-1E14(4.5%) 誤: VN-TPI4(3.8%)	TPP11で適用される税率と譲許税率適用国の申告に際して誤った入力を行った場合にエラー表示等が出るようにしていただきたい。	非違の削減や修正・更正等が減少され適正な申告が行えるので、再度検討願います。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-236	通関	IDD	2. IDD→IBPの際にBP時の換算レートが採用されるようにしてほしい。	2. IBP時にBP時のレートが反映されないため、手計算でインボイス価格を算出し、JPYで入力している。	2. IBP時にはBP時のレートで自動計算されるようにしてほしい。	2. 課税価格手計算誤りの防止、業務合理化	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-238	通関	IDI	業務リンクにIDBの追加	現在は無し。	IDIで一覧出力後、申告番号の業務リンクにIDBの項目を追加してほしい。	事項登録のデータ伸ばしを効率的に行える。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-239	通関	IDI	予備申告後のものは、全て審査区分を表示して欲しい。	申告状況把握の為、IDIを活用しているが、審査区分が入らないものがあるので都度IIDで検索を行っている。また、MSX送付漏れ確認の為、IDIを出力し、1申告毎にIMSで紹介しているが、区分が入っていないものは、まず、IIDで予備申告時の申告番号で検索した後、区分2・3であれば、更にIMSで検索している。	予備申告後に内容変更を行い、本申告していないものは審査区分が表示されないが、予備申告時の審査区分を表示して欲しい。	IDIの検索結果に全ての区分が表示されることで、申告の内状況確認が容易になる。また、MSX漏れ確認作業の軽減される。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-243	通関	IDI/IDA	事項登録日での一覧出力	照会対象日がIDA入力控の申告予定年月日になっている。	照会対象日を事項登録日（IDA入力控の申告年月日）で一覧出力できるようにしてほしい。	通常、IDAのデータは10日で切れます。事項登録日での一覧出力ができれば、データ切れ日の把握が容易になる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-244	通関	IER	日付表記	現状、レートは今週、先週、2週間前…と記載されている	具体的にいつからいつまでと日付表記できないか。 例) 今週 → 5/16~5/22	カレンダーと照合して確認しているが、特に過去のレートは見間違可能性があり、手間がかかる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-256	通関	IID	検査部門へ処理が送致されているかの可視化	IIDで申告照会を実施しても、審査状況が確認出来ない	IIDで検査部門へ書類が送致されたかどうかを可視化して欲しい	電話による確認が無くなることで業務効率化が図れる為。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-258	通関	IIE	IIEで前8桁で検索したら、末番違いも検索結果表示されるようにして欲しい。	IIEで前8桁で検索したら、末尾0000のものしか結果表示されない。 IIEで前8桁で検索した後、再度輸出入者名で検索しなおしている。	IIEで前8桁で検索したら、末番違いも検索結果表示されるようにして欲しい。	会社によっては営業所ごとに末番を設定しているが、末番違いがあるかどうかすぐにはわかるようになる。	2023年度実施予定
R03-261	通関	IMI	IMIに件数・本数が正しく反映するようリクエストします。	IMIで件数・本数を確認後、ターミナルにてPKI取得。その後、船卸確認終了情報が出力され、エンドが立つ。	仮陸貨物があり、先方がCMF02の追加・削除をした。IMIにはその情報が正しく反映されず、B/L件数とコンテナ本数が3回上乘せされた。IMI Bの画面で確認すると、右上に表示されるB/L件数とコンテナ本数は増え続けたが、詳細を数えると正しい数になっている。表示されるB/L件数・コンテナ本数と実際のデータ数が不一致になるため、PKI後に出力される「船卸確認終了情報」が出力されず、エンドが立たない。	NACCSの仕様により、件数と本数が正しく表示されない場合があるため。先方がCMF02の登録ができていないと思込み、同じデータを3回登録してしまったため。B/L件数とコンテナ本数が一致すると、ターミナルでPKI処理ができる。同じ本船が次回入港するとき、NACCS内でデータの混ざりを防ぐことができる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-264	通関	IVK	連続して照会できる仕様への変更	複数の船舶コードを検索する際、連続して検索できないため、1船ずつIVK業務を開き直して船名を入力し検索している。	ICG業務のように照会結果画面から次の船名を入力して検索できる仕様に変更して頂きたい。	複数の船舶コードを紹介したい場合に1船ずつIVK業務画面を閉じては開く作業となるため、ICG業務のように連続入力できれば作業が効率化できる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-266	通関	KKC	更正の請求を行った際の返金確認	実際に振り込まれないと確認できない	NACCSで振込状況を確認できるようにしてほしい	輸入者の口座に振り込まれる場合、通関業者が振込を確認することが難しいため	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-268	通関	MHA、MHC	汎用申請で期間延長申請を可能にする。	MHAで予定期間内に処理できなくなった場合、期間を延長するには紙での提出が必要になる。	汎用申請で期間延長申請を可能にする。	税関に向く手間がなくなり、業務のスピードアップにつながる。	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R03-270	通関	MIC	輸入許可通知情報の出力遅延	予備申告した情報に対して「IMI」の受付完了後、許可情報の戻り電文受信に「最大で3分」掛かるケースが、午前中に散見され搬出作業に時間が掛かりすぎて大変困っております。	この所要時間を最小帯にする事は出来ないかのご相談です。ちなみに午後の時間帯はこのような事はございません。		2023年度実施予定
R03-279	通関	MSX	MSX時、添付ファイルの題名に使用できない文字、スペース、記号等があるが、全て使用できるようにして頂きたい。	題名を訂正してから添付、送信している。	現在は数字、英字、-記号、ハイフン、アンダーバーのみが半角でも使用可能であるがその他、カッコ、シャープ、アンド記号などもPDFの題名として当初より使用されているケースが多いため使用できるようにして頂きたい。	PDFの題名を誤って訂正してしまうことへの件念が無くなる。また不要な作業の削除に繋がる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-281	通関	RSV	許可済み搬出貨物のペーパーレス	各港湾、空港ごとで異なる場合があるが、今なお貨物搬出時にdelivery orderや許可書など添付し用紙を提出している。	NACCS許可情報の共有によりペーパー提出省略	ペーパーレスにより用紙削減、並びに搬出手続きの簡素化	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-285	通関	なし、(出力コード SAD4891) 検査指定票	予備申告中の検査指定票の発行	予備申告区分「2」でMSX送信後、検査に変更された場合本申告するまで検査指定票が発行されない。	予備申告区分「2」が検査に変更された場合予備申告中でも検査指定票の発行を可能にしたい。	指定票を渡すのに本申告後当日検査に間に合わない、検査貨物運搬の依頼先(ドレー会社、運送会社)に事前に渡せ検査場に確実に到着できる。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-290	通関	許可	CCISで入手可能な、担保番号を取り込めるようにしてほしい	現在は、CCISと契約し担保番号を取得している	輸入許可情報(許可年月日と許可番号)と担保番号を輸入許可情報とは別に提供してほしい。もしくは輸入許可情報に含める形で提供してほしい。	担保番号を自社の通関管理システムに取り込むことで、社内業務が効率化される。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-292	通関	新設	引き取り申告後、特例申告に至っていない申告番号の洗い出しや、特例申告時に指定した納付方法のチェックを行えるような仕組みを構築してほしい。月単位であれば、「I51 輸入申告一覧データ(CBD5100)」で確認はできるが、月途中での管理が特に難しい。	特定月の翌月(特例申告実施月)に「I51 輸入申告一覧データ(CBD5100)」で引取申告をソートし特例申告実施済みを確認	過去複数の通関事例において『特例申告漏れ』(引取申告⇒特例申告)を耳にしております。実際の業務フローにおいて左記データを使用し確認は行えますが、確認行為に複数の人間が介在してしまうことにより、特例申告未実施の申告を誤って実施済みと判断してしまうなどヒューマンエラーのリスクが少なからず存在します。	例えば、【通関業者コード】【輸出入者コード】を入力し送信すればその時点での特例申告未実施の一覧が表示される様な機能があれば通関業者、特例輸入者の当事者のみではなく客観的な視点での確認が可能となります。結果としては、通関実務の部分での確認作業にかかる効率化、特例申告月内での確実な納税申告実施効果に繋がるものと考えます。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-293	通関	新設	輸入申告後の納税状況は税関側ではタイムリーにチェックしていると思われるが、民間側でも可能とする仕組みを構築してほしい。特例輸入者が指示したとおりの納税方法でないと、納付書等を同じタイミングで入手できず納税遅延に繋がる可能性がある。	延納の場合、「IAS」担保照会で担保残高の推移で確認するしか術が無いが、非常に煩雑となる。直納の場合は確認の術が不十分。現行、SBF7301『一括納付明細情報 特例申告即納(直納)』にて配信日を選択できる仕様に変更いただいているが、配信日以降に実施する特例申告即納(直納)については通知の対象から外れる。	一輸入者の事例において数社の通関業者に通関業務を委託しており、複数社において納付方法の選択ミス(納期限延長を直納)事例が度々発生している。当該事例においては、特例申告を実施した通関士が直納の事実が気が付いておらず納付書が出力されなかった。納税が伴う一般申告であれば、即納或いは納期限延長が選択された申告について輸入許可に至りません。誤って直納を選択した場合は輸入許可にはならないので誤りに直ぐ気が付くことができる。結果として、税関収納課より指摘を受け発覚したケースもある。	【通関業者コード】【輸出入者コード】【特例申告実施月】を入力し送信することで納税が伴う申告において直納申告の事実がタイムリーに確認できるような仕組みがあれば適正な納税、AEO事業者、通関業者の確認作業の業務改善に繋がる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-297	通関		輸出入者として取得したIDについて、申告などの誤送信防止	輸出入の申告事項登録の際に、誤って申告を進めてしまいそうになることがある	通関業者のコードは通関士コードのIDとそうでないものを使い分けることでご送信を防いでいるが、輸出入者のIDではそれが出来ない		他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R03-298	通関		リアルタイム口座支払完了通知情報に社内整理番号、荷主REF NO.を表示してほしい	リアルタイム口座支払完了通知情報に社内整理番号、荷主REF NO.は表示されていない		出力帳票にそれらの番号が記載されていたら、輸入者・通関業者ともに帳票の管理がしやすい	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-299	通関		特例申告に係る滞納事案発生防止策	法定納期限内に特例申告がなされない場合でも、ユーザーには何ら通知がされない。	特例申告を法定納期限内に行わなかった場合、即、滞納となることから、期限の前々日頃までに警告のメールを自動配信してほしい。	法定納期限内の特例申告もれは、滞納扱いとなり、AEO取消要件に該当することから、事前警告のメールを自動配信することにより、手違い等による滞納を減少させることができる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-303	通関		17条1項の貨物を輸出するときは輸入許可書等に輸出数量を裏書処理しているが、naccsで残数管理ができるような業務メニューができないか。	輸出申告を行うときに輸出承認証番号等欄に当該輸入許可番号を記入して申告し、かつ税関で裏書数量の確認印をもらうため書類提出している。	17条1項の輸入許可番号で裏書登録をし、輸出申告時に輸入許可番号を入れることで裏書自動処理することで許可後の原本提出を簡略化する。	再輸出貨物の輸出の届け出(T-1385様式)のときに税関で数量確認が容易になる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-305	通関		船舶の純トン数を通関業者でも検索可能とする業務の新設	現状では業務コードIVSやIVKで船舶コード等の確認は可能であるが、純トン数の確認が出来ない。	船用品申告の際に必要な純トン数を通関業者でも検索可能とする業務の新設	汎用申請実施後、毎回のように税関から指摘を受ける為。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-306	海上入出港	DOR	送信先データベースチェック	DOR送信先について、マニフェストにて登録しているCYではなくても、送信できる。	DOR送信先とマニフェストにて登録しているCY情報をマッチングしてほしい。	荷渡可能表示“Y”が立っても、貨物の搬出ができないケースを解消したい。	第7次NACCs更改において対応予定

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-307	海上入出港	ICG	輸出許可変更が申請中か許可済みかICGでわからない。	許可されていないのに申告番号は変わっているので一見許可済みに見える。最初の許可日と変更申請日が同日だとみわけがつかない。区分1の時はCEEが入らないので見分けがつかない。	ICGで見分けがつくようになると確認しやすくなる。	CYで輸出許可申請中を把握できず、業務を進めてしまう恐れがある。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-308	海上入出港	ICI	コンテナ情報抽出の際に登録されている貨物管理番号を反映させてほしい	船積可能識別はあるものの、パンニング登録の有無等貨物詳細が分かりにくい。	コンテナ番号、貨物管理番号、船積可能識別のみ反映される画面があるとよい	複数本口の貨物の場合、どのコンテナが同じ申告なのか分からず、コンテナ1本ずつICNにて貨物管理番号を確認する必要がある。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-309	海上入出港	ICI	積出港が確認しづらい	パンニング登録時に誤った船積港を登録していると、自社にCYAしているのに照会できない	輸出申告上の積出港をICIで確認できるようにしてほしい	積出港をblankにした場合と、指定した場合の2回照会をかけ、差異を確認する手間が省ける	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-311	海上入出港	IMI	IMIの照会 画面展開の改善要望。	IMI B/Cの照会 画面で一番上からでてきて、B/L NO. からでてくる。	照会区分や船舶から照会したい。	他画面と同様の展開の方がわかりやすい。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-312	海上入出港	IMI	仮陸揚貨物が前港に蔵置中の場合IMI上でわかるようにしてほしい。	前港に蔵置中の場合でもIMIで照会されるただしC-コンテナ情報照会では合計本数は揚げ予定総本数であるが、照会されるコンテナには前港蔵置分が出てきておらず、正しい本数を反映しているとは言えない	国内で蔵置されている場合、次港でPKIがかからないため、事前に把握したい。IMI-コンテナ情報で総本数とは別に船卸可能コンテナ本数を出して欲しい	他港に蔵置中であることがIMIでは分からず、PKIをかけた際にエラーとなり発覚する	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-313	海上入出港	IWS	輸入CY0不要設定（CY）の場合、輸入許可済み貨物は外して欲しい	在庫照会をかけると保税管理不要の輸入許可済み貨物がデータに載ってくる。そのため再度未許可貨物を洗い出す必要がある。	輸入未許可貨物のみ把握したい、またはそれを含むか含まないか選べるようになるとよい	保税管理の必要な未許可貨物のみ把握ができる。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-321	海上入出港	WPC TPC	「とん税等納付申告控情報」において、英文訳の追記	外航船社等に対して控え資料として送付の際に英文訳が必要なことがあり弊社で記載・スタンプ押印で対応している	全体もしくはタイトル等一部の英文訳の追記	英文訳を記載・スタンプ押印をしなくて済む。外航船社等に対して資料等にそのまま使用することができる	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-326	航空入出港	GIA01/GIR01		ATA以外は同じ内容を入力	業務コードを1つに集約し、同じ入力シートでGIA、GIRが送信できる仕様へ変更を希望。例えば、検疫のみ提出にチェックをつけることで、検疫にのみ情報が伝達されるなど。	作業の効率化	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-329	航空入出港	GIR、GOR	入力する文字枠のサイズ変更	文字枠が画面に対し、小さい	入力する文字枠を大きく変更	入力ミス防止の為	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更はシステム改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-331	航空入出港	PLR、NLR	名前入力欄の文字数変更	名前入力欄の文字数が少ない	名前入力欄文字数増	名前がミドルネームがある方だと文字数が入らず反映していない。（CIQから正当名前を聞かれる。）	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-332	航空入出港	PLR01	PLRの日本語がわかりにくいです。	例えばNRTからTPE経由でHKGへ行く場合、1最初の出発空港、2他国からの最終出発空港、3最初の到着地空港、4経由地空港、5最終目的地空港と項目がある中で使用するのは2,3,4になります。	NACCS上の日本語を解釈すると1,3もしくは4,5になるのが自然かと思えます。外国の航空会社でもNRTから便名が変わるのであれば出発空港、経由地空港、最終目的地空港とシンプルに分けて頂きたいです。	誤った情報を送るのを防げると思えます。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-335	その他	ACL01	ACL01の展開画面を減らす	共通部1～5、繰返部と6つ展開画面あり、入力しづらい	可能な限り共通部を統合し展開画面を減らしてほしい	複数の画面行き来する必要がなくなり、入力しやすくなる	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-341	その他	APA	交通者情報の柔軟化	1申請に辺り交通者情報が20名しか登録出来ず、交通者が100名等の大人数になる場合、何件も申請しなければならず手間な為、マニュアルにて税関に提出している。	交通者情報をPDFやExcelの添付が出来る仕様にしてほしい。若しは、MSB対応や汎用申請に変更して頂きたい。	交通者が大勢いる場合に簡易に対応出来る、また業務の時間短縮にも繋がる。	関係省庁に伝達し、今後も継続して検討いたします
R03-345	その他	DMF	船社や船舶代理店しかできないNACCS不参加の在来船の積荷目録を誰でもできるようにする。そうしないと、特例輸入者なのにも関わらず搬入前許可を受けることができない。DMFを通関業者もできるならば私がやり、そのままIDCをやることができる。	搬入後の申告をしているため、分割で搬入がされるもの毎に申告を分割しなくてはならない。また岸壁から保税倉庫までの保税運送も分割して行なっているため、業務にかなりの負荷がかかっている。	DMFを船社や船舶代理店以外の利用者コードからもできるようにする。	時間の効果は計り知れない。1B/Lにつき10以上の分割申告をしているがそれを一括で申告し、保税運送を切る必要がなくなる。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-346	その他	EDC	EDC印刷時における輸出承認番号等の表示について	EDC画面において印刷時の入力可能数が奇数のため、1)のみ右上にあるため、見間違いを誘発する可能性がある。視線の動きは最初に「輸出承認番号等」の真下である2)に誘導されるからである。人間工学に基づいたインターフェースの改善を求む。			他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-348	その他	HHH	補足情報のコメント欄入力可能文字数を増やしてほしい。	現在の仕様では、補足情報のコメント欄は140文字が入力可能文字数となっている。一方、各種指数の算出にあたっては、保険金額がCIF価額の前で自動計算されているため、保険金額をCFR価額前提とした場合、各種指数の自動計算がなされない。この場合、各種指数については数値を補足情報のコメント欄に入力している。	各種指数に加えて輸入者よりメモ等のコメント欄への文字入力を依頼された場合、文字数制限に抵触し、文字数の削除やメモ記載を断念していただく等の支障が発生しているため、補足情報のコメント欄の入力可能文字数を280文字程度に増やしてほしい。	輸入者にもわかりやすい内容でコメント欄の入力ができる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-351	その他	ICG	DOR 取消送信	DORの履歴が付くのと、荷渡可能表示が消える？	DORの履歴の横に「取消」等わかりやすくしてほしい	DOR送信の履歴が何度もついている時がある。通知先の変更なのか取消送信なのか瞬時に判断するのが難しい	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-352	その他	ICG	ICGを1ページにまとめられないか？	印刷時、FCLの場合のICGで、コンテナ番号のみが、1ページに収まりきらず、2ページにまたがってしまう。	全体的に情報が多くて2ページになるならやむを得ないが、コンテナ番号のみ2ページ目にきており、神の出力の無駄にもつながっております。一部記号化するなりで、スペースを省略し、1枚の紙に集約できないか。	資源の有効活用、紙出力の削減。	第7次NACCs更改において対応予定
R03-353	その他	ICN	代理店IDでの貨物管理番号、許可状況を確認	オペIDでのみ確認可能	代理店IDでも貨物管理番号、許可状況の確認をしたい	代理店として通関状況の確認をしたいため	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-356	その他	IDC	IDC申告番号について	IDCの申告番号はEDCのものとは異なり、スペースがあるためダブルクリックで番号全体を選択することができない。ドラッグする必要があるため時間をとられる。スペースの存在に合理的な理由があれば別だが、たとえ1秒程度といえどユーザーの利便性を阻害するべきではないと考える。			第7次NACCs更改において対応予定
R03-375	その他	RSS01	ディスパッチ（輸入コンテナ引取予定ID確認情報）を事業所コード返信より、事業所内の引き取り依頼した各認証コード取得者へ返信して欲しい	ディスパッチ（輸入コンテナ引取予定ID確認情報）を事業所コードへ一律返信されるので、ディスパッチがNACCsより返信されても、データ抜き出し者が特定できない場合は、各認証コードへ返信の確認をする必要、また確認ができない場合はマニュアルにて再度CYへ搬出申し込みをする必要があり手間がかかる。	ディスパッチの返信は、RSS01業務の送信者へ直接返信されるように変更していただきたい。	業務行程の効率化、工程削減	第7次NACCs更改において対応予定
R03-376	その他	URY	通関士用の利用者IDの初期割当ておよびパスワードを変更する場合、システムからパスワードを払い出してほしい。併せて、IDとパスワードの一元管理が可能になるようにしてほしい。	パスワードを変更を行うために、新たに自らパスワードを考案しなければならない。	通関士用利用者IDに付随する初期パスワードからのパスワード変更、人事異動などで通関士IDを「UTB」で変更した際のパスワード変更の際に、NACCsから自動でパスワードを払い出して欲しい。	セキュリティに問題のないパスワードを考案することが無くなり、安全が確保できる。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-377	その他	管理資料データ	管理資料H01 輸出申告一覧データ	現在は小数点以下切り捨て	管理資料のG/Wを小数点以下3桁まで表記して欲しい	保稅台帳として保存する際に書類を見ながら小数点以下を追加しているため	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-378	その他	管理資料データ	管理資料I51 輸入申告一覧データ	現在は小数点以下切り捨て	管理資料のG/Wを小数点以下3桁まで表記して欲しい	保稅台帳として保存する際に書類を見ながら小数点以下を追加しているため	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-379	その他	管理資料データ	管理資料H01 輸出申告一覧データ	現在は小数点以下切り捨て	管理資料のG/Wを小数点以下3桁まで表記して欲しい	保稅台帳として保存する際に書類を見ながら小数点以下を追加しているため	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-380	その他	管理資料情報	毎月1日に配信されるCBD5100(輸入申告一覧データ)の申告等種別がIBPで申告した際はIBPで表示	IBPで申告した際もBPで表示される。	概要に記載の通り	現在のシステムの仕様では許可年月日を確認しなければ、BP・IBPの判別ができない為、都度確認する必要がある。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-382	その他	新規	通関業法に定める「従業者等異動届」ならびに「在宅勤務開始・終了届」をNACCsで行う。	システム化されていない（と記憶する）。	NACCsから当該届出を行い、併せて（特に通関士の利用者IDなど）の管理を簡便に行えるようにしてほしい。	管理の一元化	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-387	その他		データ送信中のキャンセルボタンについて	申告時、データの送信中のダイアログのキャンセルボタンが機能していない。キャンセルしてもデータは送信されている。まるで欺瞞のような意味のないダイアログは表示すべきではない。			システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-389	その他		データの入力に関して	入力ボックスと実際の入力可能文字数が一致しておらず、入力可能な文字数が一見してわかりづらい。合理的理由がなければ実際の入力可能文字数と入力ボックスの大きさは一致させるべきである。			システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-396	その他		使用可能なショートカットキーの追加	印刷プレビュー画面で“CTRL+P”の印刷ショートカットキーが使えず、印刷マークを押し設定を確認してからの印刷となっている	ショートカットキーを使用できるようにしてほしい	業務の効率化を図れる	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-399	その他		一覧画面で検索できる内容を増やしてほしい。	検索区分は複数あるが、一覧に表示されている項目でのみ検索が可能。具体的に抽出できるのはB/L番号のみ。	より詳細に検索できるようにしてほしい。申請した内容(例：コンテナ番号)からも検索できるようにしてほしい。	検索できる内容の幅が増える。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-400	その他		業務エラーをまとめて抽出したい。	エラーとなった業務は、エラーコードが表示されている欄を、一覧を遡って探している。	エラーとなった業務をチェックボックスを設けるなどして抽出できるようにしてほしい。	一覧から効率的に情報を抽出できるようになる。業務を更新中の場合、画面が動いて動作が悪くなるため。	2023年度実施予定
R03-407	その他		許可・承認貨物（輸出）情報	許可・承認の確認事項	現在の内容にBOOKING NO・揚港の記載を情報として追記してもらいたい。	ICGでの確認が省略される。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-410	その他		通関業者許可事項の登録・修正の業務コード化	・通関業の許可事項の変更は都度税関様式B1140もしくはC9030で申請書を作成し、提出している。 ・自社情報の最新の登録内容は、過去に提出した申請書を取りまとめ、別途リストで管理している。	左記提出した情報を業務コードで管理しNACCSで①自社登録情報の閲覧、②許可事項の変更発生時には、当該業務コード内で変更申請、③税関、通関業者双方でダウンロードができる仕様にする。	許可事項は、変更があった内容のみ申請しているため、自社情報の最新の登録内容は別途リストで管理している。NACCS内で最新の登録内容の管理ができれば税関も通関業者の情報管理を一元化・データ化でき、また通関業者側でも管理の簡素化につながる事が可能。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-411	その他		管理資料データ【G02輸出貨物搬出入データ】への表示項目追加。	管理資料には金額の表示はないので、別途積戻し鋼材用の保税台帳を作成している。	G02輸出貨物搬出入データへの金額（FOB円建て表示）を追加してほしい。	金額は保税工場における保税台帳の記載項目となっており、管理資料に金額が表示されれば保税工場も管理資料を保税台帳として活用できる為、保税蔵置場と同様に保税台帳の電子化が可能となる。また、管理資料である為、記載ミスなどの防止も期待できる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難